

2 学 期	<p>【知識及び技能】 原子量の概念、考え方を理解する</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 原子量をもとにして、分子量や式量について理解する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 実験に積極的に取り組む。 周囲の者と互いに教えあう。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>教科書 問題集 プリント 映像教材 スマスク端末 他</p>	<p>【知識及び技能】 原子量・分子量・式量の定義を示すことができる。原子の相対質量をもとに、分子や分子をつくらないものの質量を考慮することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 異なる質量の原子が混在する場合、その平均の質量を表す方法を見出すことができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 同じ原子でも異なる質量をもつものがあることに興味をもつ。原子1個がいかに小さなものであるかを実感する。</p>	○	○	○	4
	<p>【知識及び技能】 物質量の概念を理解する</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 物質量と粒子の数、質量、気体の体積を相互に変換できるようにする</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 実験に積極的に取り組む。 周囲の者と互いに教えあう。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>教科書 問題集 プリント 映像教材 スマスク端末 他</p>	<p>【知識及び技能】 実際の物質の1mol分の量を示すことができる。実際の物質の量を物質量で表せる。同温・同圧の気体の場合、1molの体積が共通であることを理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 ある質量の物質の中に、原子や分子などが何個含まれているかを考えることができる。モル質量の概念を使い、粒子の数・質量と物質量に関する計算ができる。モル体積を用いて、気体の体積と物質量に関する計算ができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 多数の粒子を数えることは困難なので、まとめて扱うことが便利だということに気づく。物質量の概念に興味をもち、粒子の数・質量・気体の体積との関係について説明できる。</p>	○	○	○	6
	定期考査						1
	<p>【知識及び技能】 質量パーセント濃度やモル濃度といった濃度の定義を理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 溶液のモル濃度を求められるようになる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 実験に積極的に取り組む。 周囲の者と互いに教えあう。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>教科書 問題集 プリント 映像教材 スマスク端末 他</p>	<p>【知識及び技能】 濃度の表し方について、いろいろな方法があることを理解している。目的の濃度の水溶液を調製することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 2種類の濃度の求め方を理解し、その換算ができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 溶液の濃さの表し方について興味をもつ。</p>	○	○	○	4
<p>【知識及び技能】 化学変化を化学反応式やイオン反応式で表すことを理解し、それぞれの反応式を書けるようになる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 化学反応式が表す量的な関係について理解する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 実験に積極的に取り組む。 周囲の者と互いに教えあう。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>教科書 問題集 プリント 映像教材 スマスク端末 他</p>	<p>【知識及び技能】 化学反応における、物質量、粒子の数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。化学反応式を用いて量的な計算を行うことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 正しい化学反応式が表せる。化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化でとらえることができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 多くの化学変化は化学反応式で表されることがわかる。化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。</p>	○	○	○	8	
定期考査							1
3 学 期	<p>【知識及び技能】 酸と塩基における2つの定義（アレニウスの定義とブレンステッド・ローリーの定義）について、その違いも含め理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 酸や塩基の価数や電離度について理解する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 実験に積極的に取り組む。 周囲の者と互いに教えあう。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>教科書 問題集 プリント 映像教材 スマスク端末 他</p>	<p>【知識及び技能】 酸・塩基の価数、電離度などの考え方があることを理解し、説明できる。H⁺の授受が実際に行われている反応を確認することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 酸・塩基の性質をH⁺とOH⁻で考える方法と、H⁺の授受で考える方法から、酸と塩基を見極められる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 酸とは何か、塩基とは何かに関心をもつ。</p>	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】 酸と塩基の中和反応によって、塩と水が生じることを理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 塩の分類や性質、反応性について理解する。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 実験に積極的に取り組む。 周囲の者と互いに教えあう。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>教科書 問題集 プリント 映像教材 スマスク端末 他</p>	<p>【知識及び技能】 中和反応を化学反応式で表すことができる。酸性塩・塩基性塩・正塩などの分類について理解している。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 中和反応がH⁺、OH⁻の反応であることに気づく。</p>	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】 酸化還元反応を利用したものに、電池や電気分解があることを理解する。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 電池の仕組みを理解し、ダニエル電池や実用電池について理解を深める。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 実験に積極的に取り組む。 周囲の者と互いに教えあう。</p>	<p>・指導事項・教材 ・一人1台端末の活用 等</p> <p>教科書 問題集 プリント 映像教材 スマスク端末 他</p>	<p>【知識及び技能】 電子の授受により酸化還元反応が説明できることを理解している。酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようになる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 電池や金属が製錬が酸化還元反応を利用したものであることに気づく。電池の基本的な仕組みについて、イオン化傾向や電子の授受に着目して説明できる。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 身近にある電池の構造や反応の仕組みに興味を示す。</p>	○	○	○	8
	定期考査						
合計							70